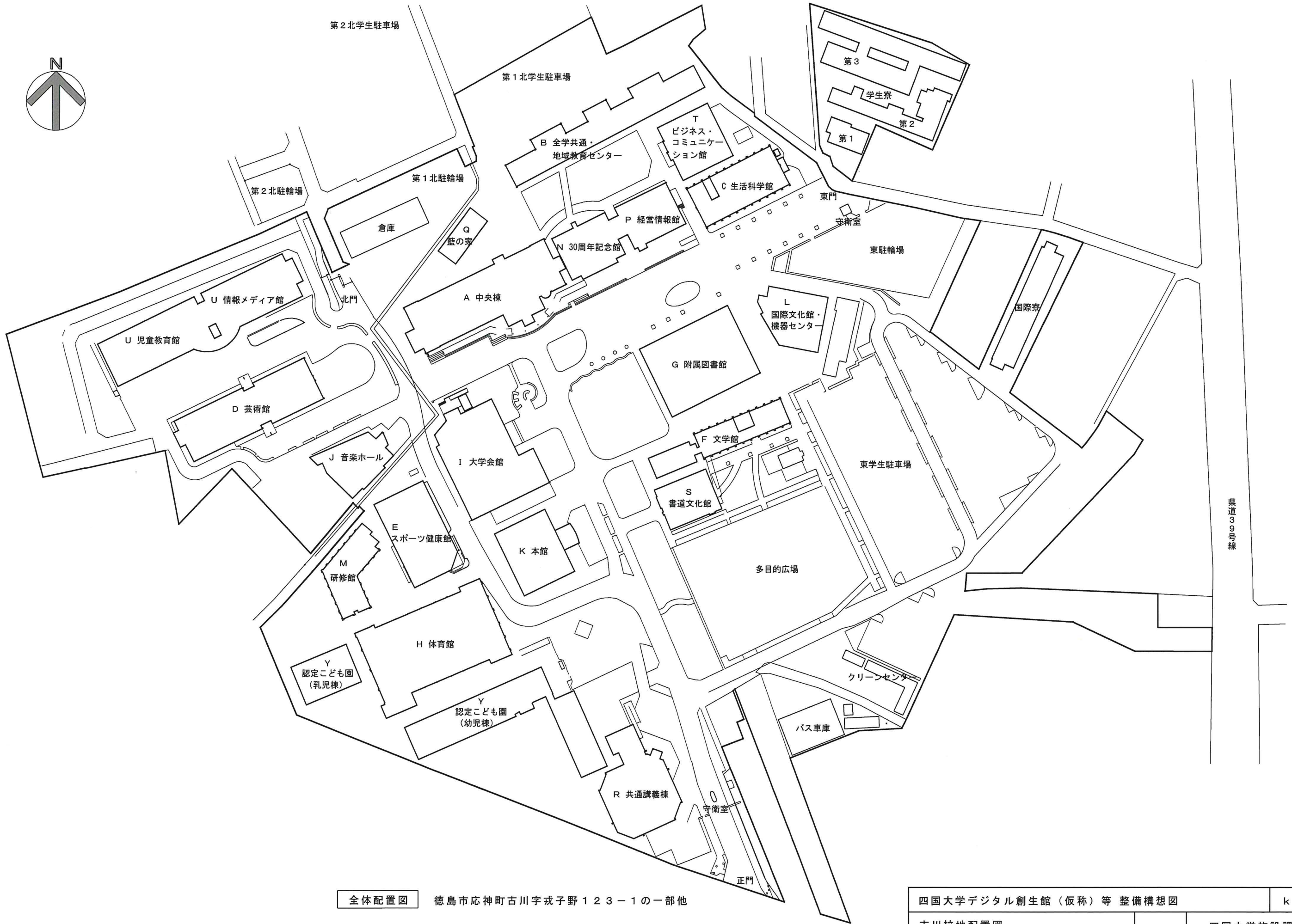
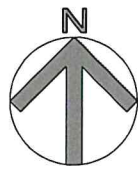
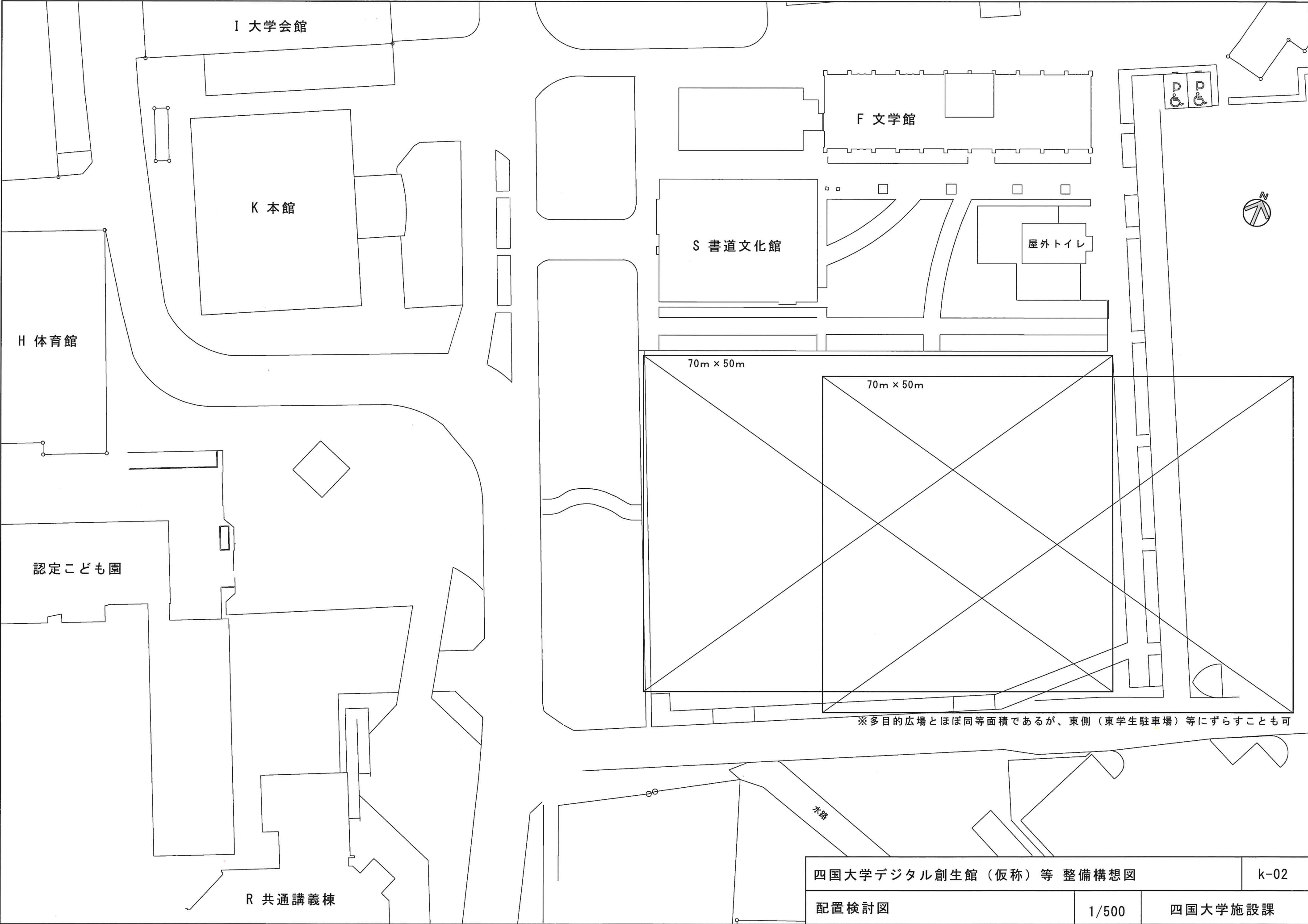




全体配置図 徳島市応神町古川字戎子野123-1の一部他

四国大学デジタル創生館（仮称）等 整備構想図		k-01
古川校地配置図		四国大学施設課



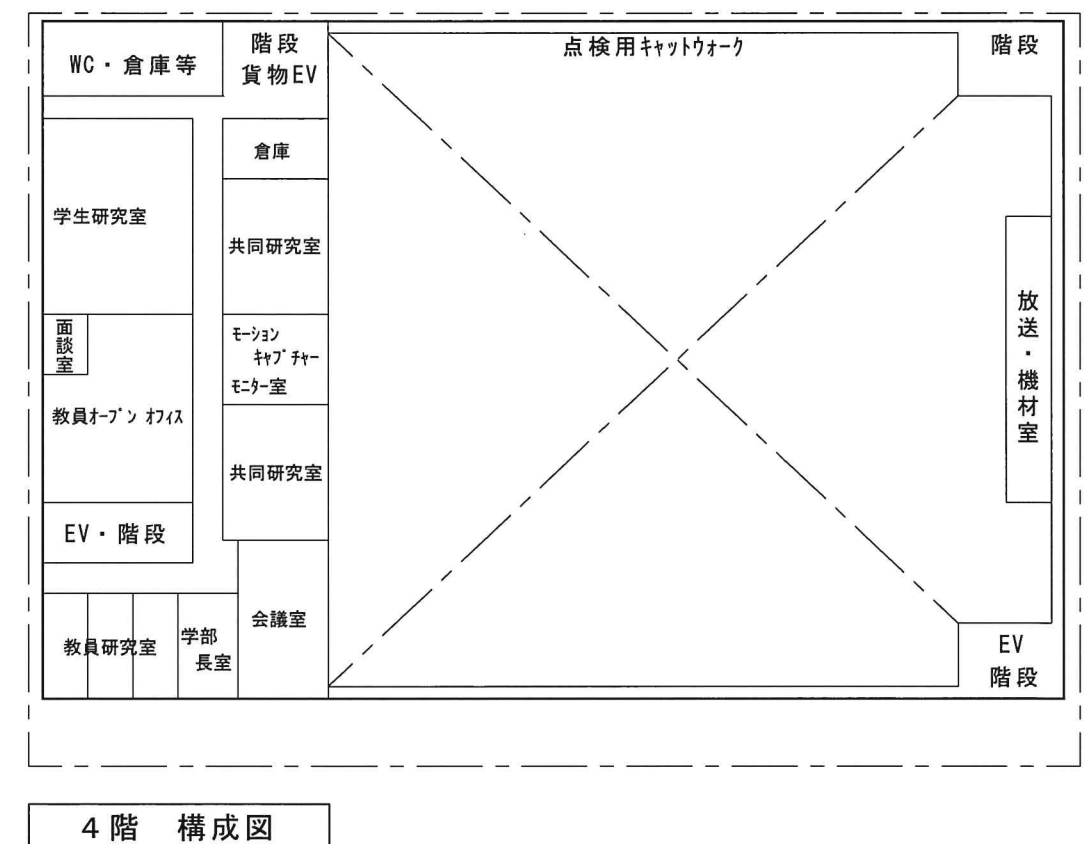
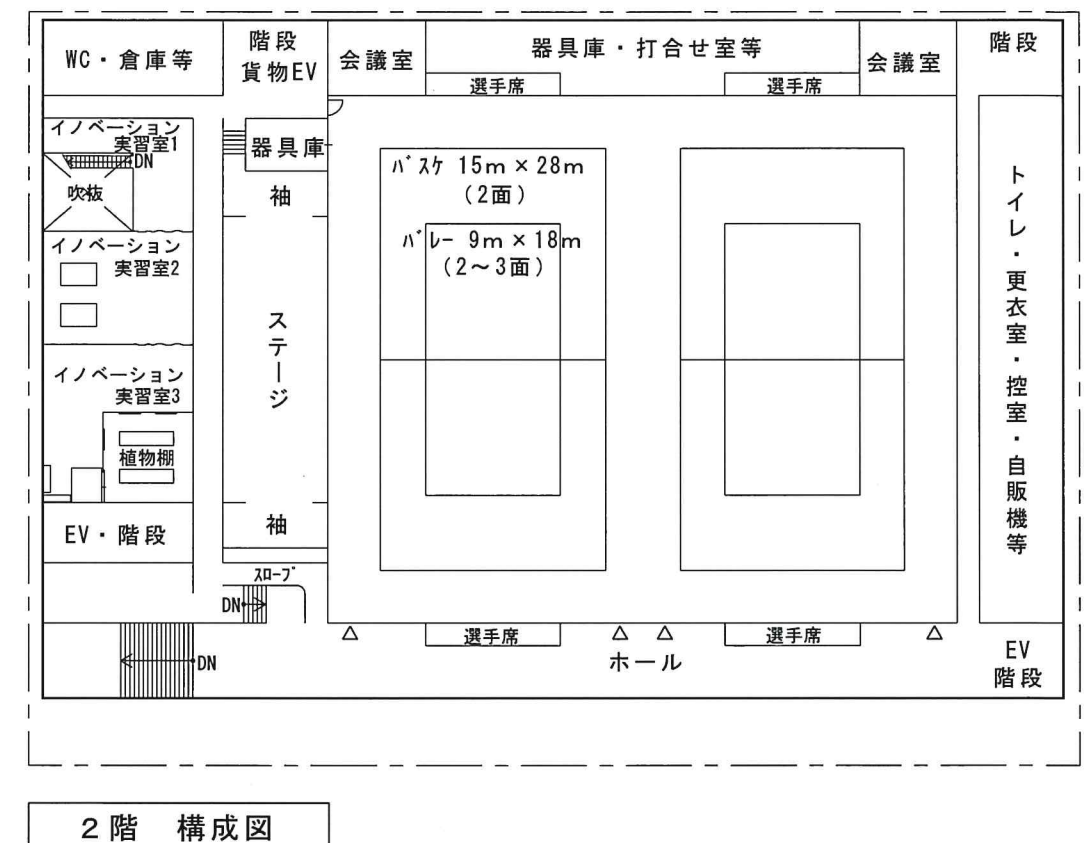
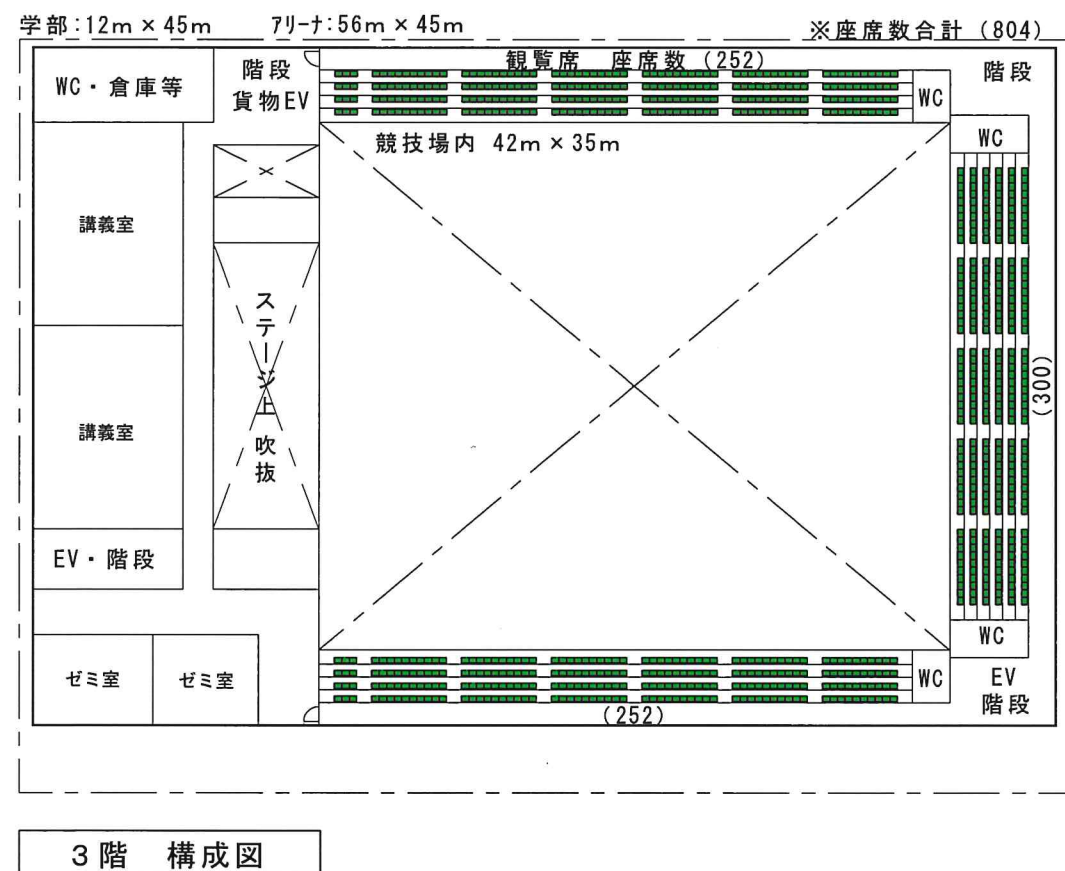
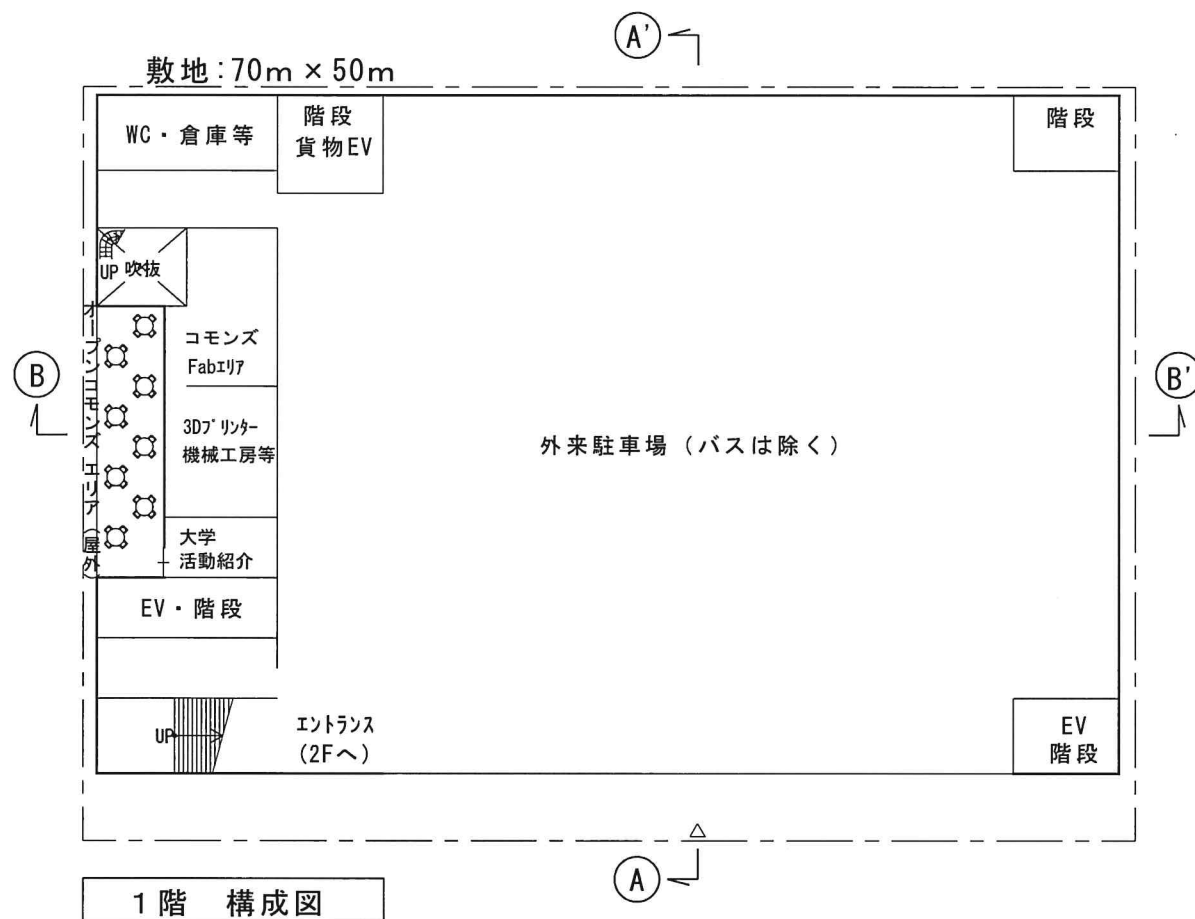
四国大学デジタル創生館（仮称）等 整備構想図

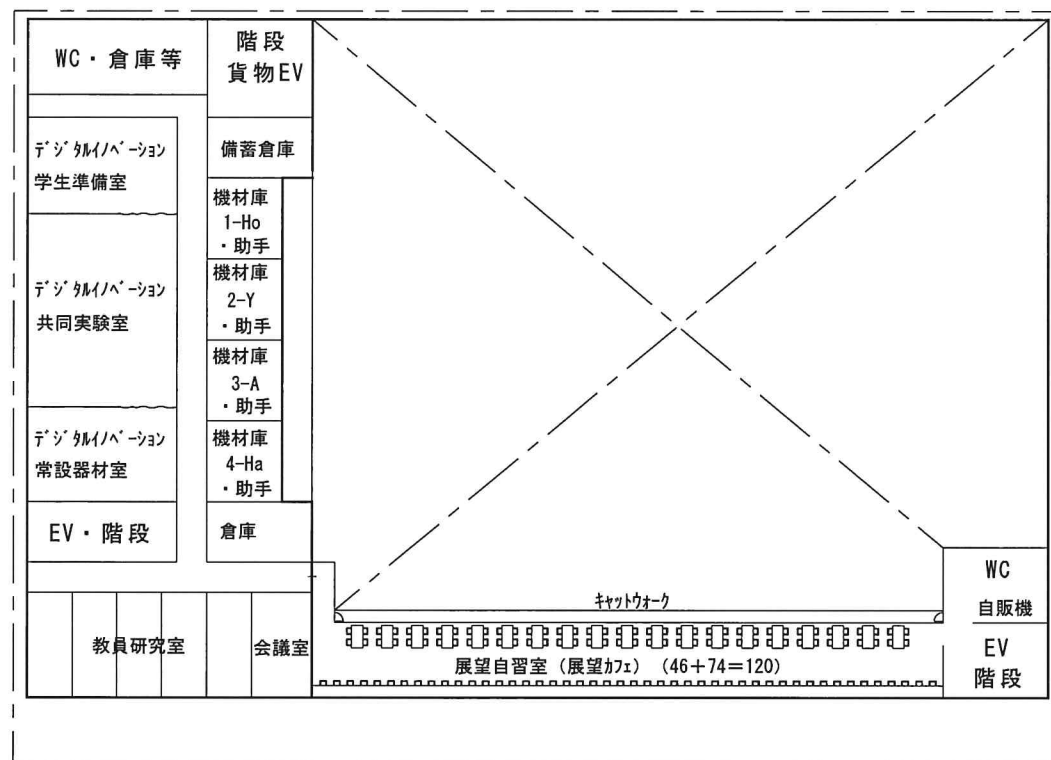
k-02

配置検討図

1/500

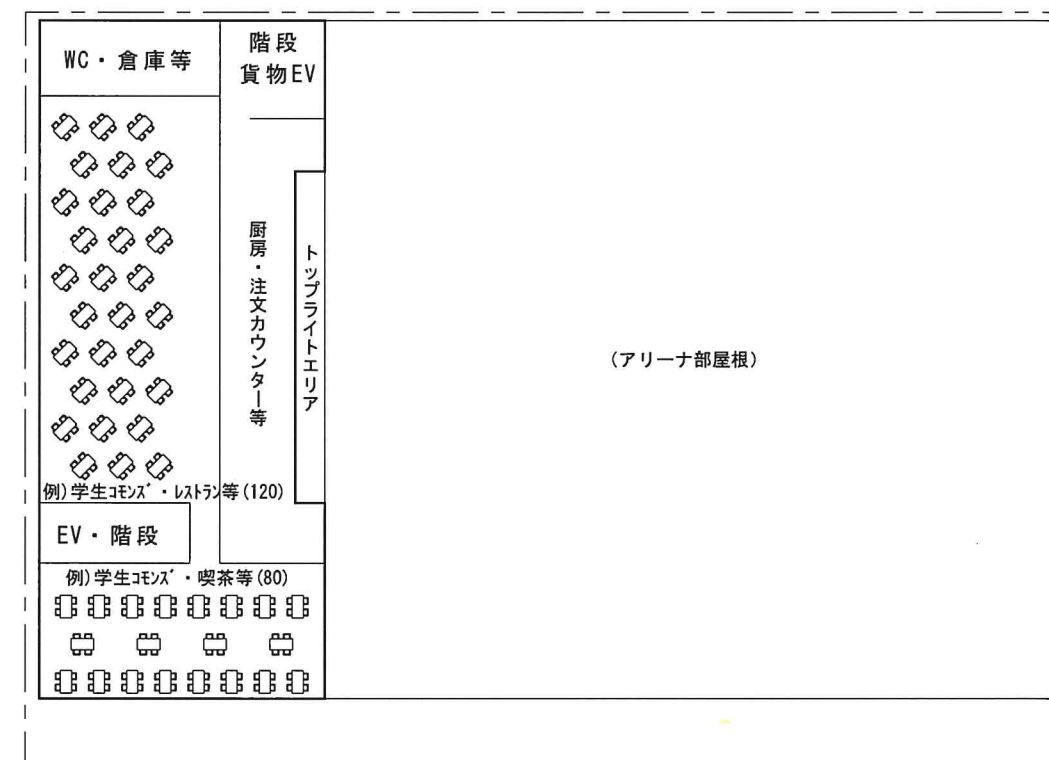
四国大学施設課





5階 構成図

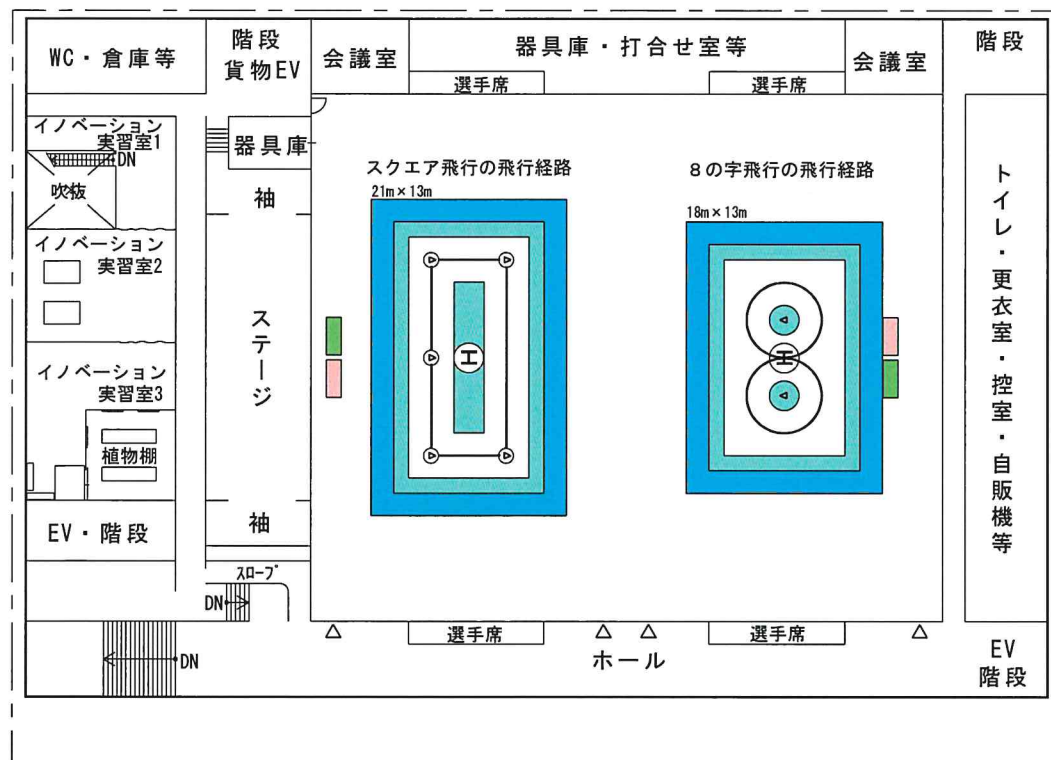
※アリーナ上部には内外が見渡せるように展望自習室を整備



6階 構成図

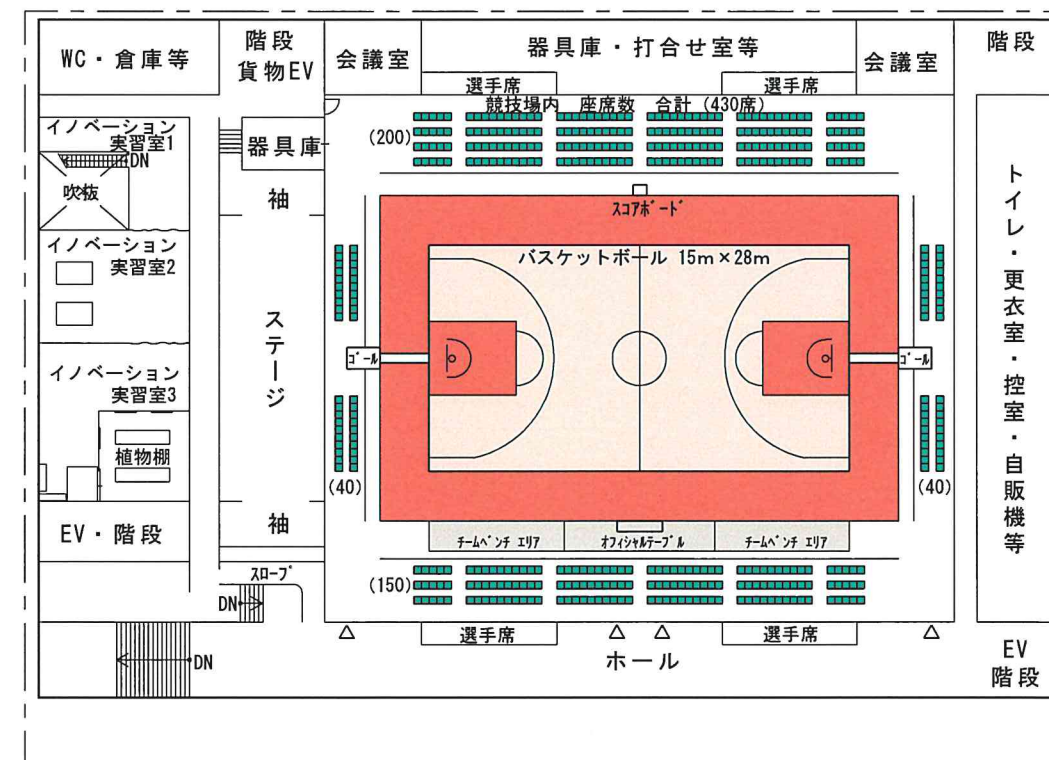
※眺望を活用して学生が集える空間を整備
(レストランや喫茶等の誘致も検討)

●アリーナ部のデジタル創生活動例



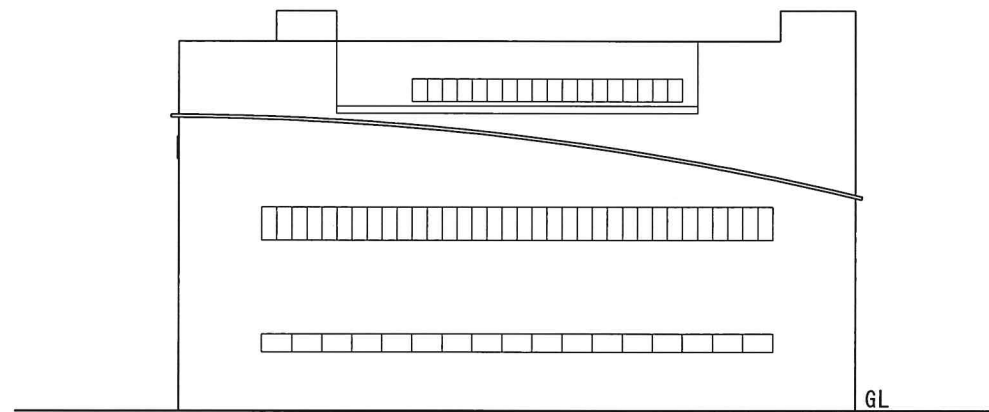
2階 パターン①

※ドローンの練習場として2面活用する場合のレイアウト例



2階 パターン②

※バスケットコート、観客席設置でモーションキャプチャー実施の場合のレイアウト例



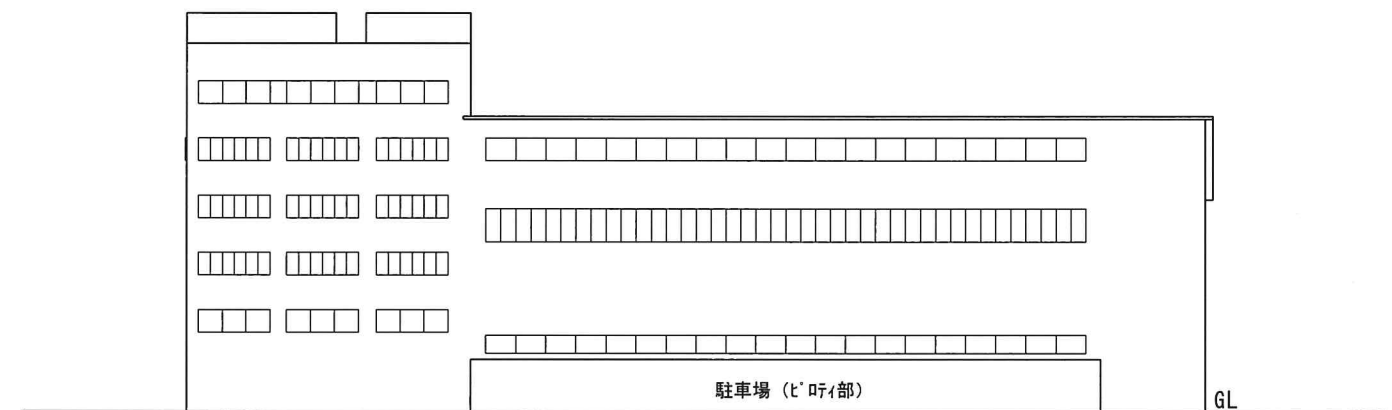
東側 立面図

※文学館、書道文化館からの圧迫を和らげるため勾配屋根の検討
(軽量化と低コスト化を目指すため膜構造の検討)



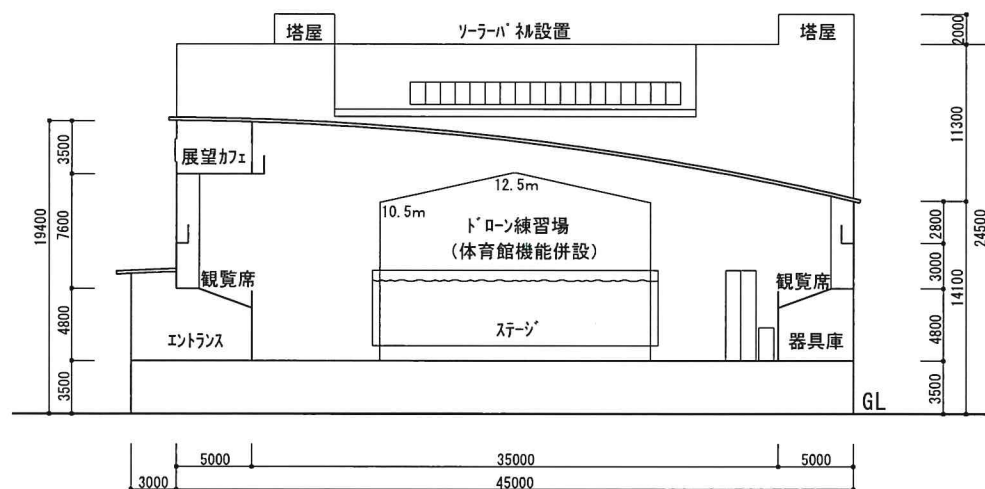
西側 立面図

※1階コモンズは外部からのオープン性を重視
(前庭部分を工夫し、外来者にもアピール)



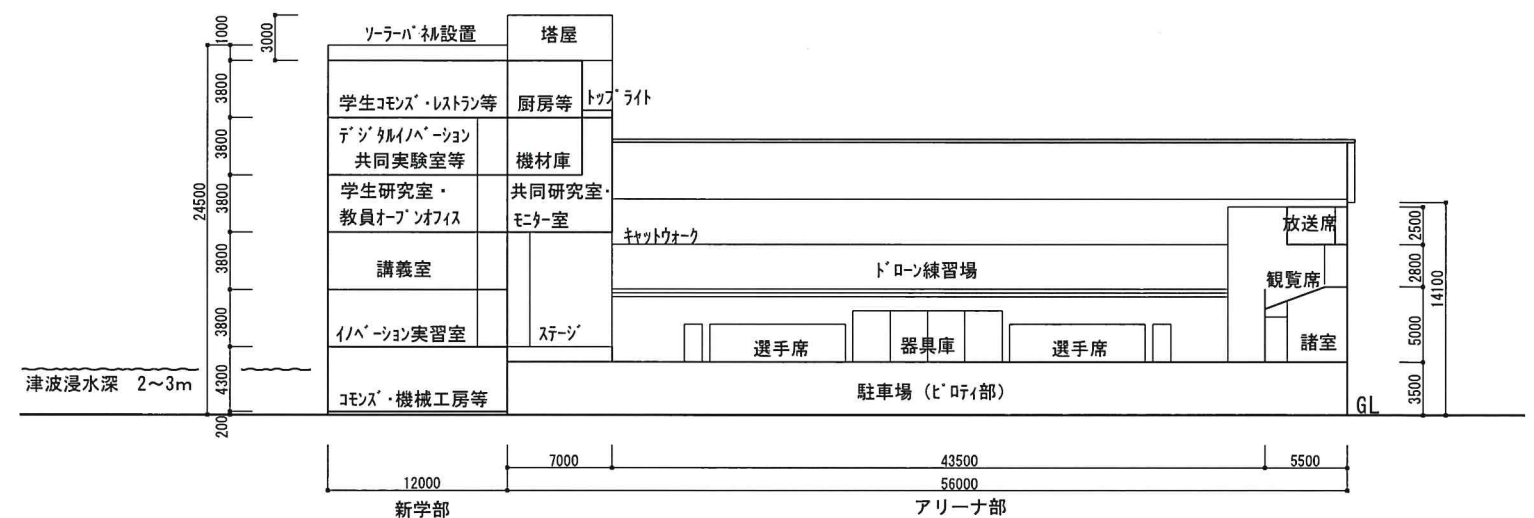
南側 立面図

※アリーナ上部には、せっかくの眺望を活かし展望カフェを設置
(学生が気軽に、自習・軽食・語らいの場とできるように)



A-A' 断面図

※展望カフェからも競技・訓練内容を可視化
デジタル関係のイベントにも対応できるよう、あらかじめ照明等を工夫
※天井高さ基準 バレーコートの センターラインで12.5m、エンドラインで10.5m



B-B' 断面図

※新学部の屋上には、ソーラーパネルを設置
ドローン練習場は、災害時には避難場所にもなるため、津波浸水深 (2~3m) をクリアする計画に

四国大学デジタル創生館 (仮称) 等 整備構想図

k-05

立面図・断面図

1/500

四国大学施設課